

「アガルトの司法試験・予備試験 総合講義 1問1答
憲法・行政法」訂正

本書 140 頁「最判平 23. 5. 30 君が代起立斉唱事件」の事案に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

以下に正誤表と正しい事案を掲載したページを付けました。差し替えをお願いいたします。

誤	正
公立小学校の校長が、音楽専科の教諭として勤務していた者に対し、入学式の際に君が代のピアノ伴奏を行うように職務命令を行ったがこれを拒否したので、同人を戒告処分とした行為の適法性について、文章中の空欄を埋めなさい。	都立高等学校の校長が、教諭として勤務していた者に対し、卒業式の際に国旗に向かって起立し国家を斉唱することを命ずる職務命令が憲法 19 条に違反するかについて、文章中の空欄を埋めなさい。

侵害することを要求するものとは解せられない……。」

最判昭63.7.15 麹町中学内申書事件

内申書に大学生ML派の集会に参加している旨の記載等をした行為が憲法19条に反するかについて、文章中の空欄を埋めなさい。

「本件調査書の備考欄及び特記事項欄にはおおむね『校内において麹町中全共闘を名乗り、機関紙『砦』を発行した。学校文化祭の際、文化祭粉砕を叫んで他校生徒と共に校内に乱入し、ピラまきを行った。大学生ML派の集会に参加している。学校側の指導説得をきかないで、ピラを配ったり、落書をした。』との記載が、欠席の主な理由欄には『風邪、発熱、集会又はデモに参加して疲労のため』という趣旨の記載がされていたというのであるが、右のいずれの記載も、520) _____ を記載したものでないことは明らかであり、521) _____ し、また、Xの思想、信条自体を高等学校の入学選抜の資料に供したものととは到底解することができない……。」

最判平23.5.30 君が代起立斉唱事件

都立高等学校の校長が、教諭として勤務していた者に対し、卒業式の際に国旗に向かって起立し国家を斉唱することを命ずる職務命令が憲法19条に違反するかについて、文章中の空欄を埋めなさい。

「Xは、卒業式における国歌斉唱の際の起立斉唱行為を拒否する理由について、日本の侵略戦争の歴史を学ぶ在日朝鮮人、在日中国人の生徒に対し、『日の丸』や『君が代』を卒業式に組み入れて強制することは、教師としての良心が許さないという考えを有している旨主張する。このような考えは、『日の丸』や『君が代』が戦前の軍国主義等との関係で一定の役割を果たしたとするX自身の歴史観ないし世界観から生ずる社会生活上ないし教育上の信念等ということができる。」

「しかしながら、本件職務命令当時、公立高等学校における卒業式等の式典において、国旗としての『日の丸』の掲揚及び国歌としての『君が代』の斉唱が広

〈解答〉

520) Xの思想、信条そのもの

521) 右の記載に係る外部的行為によってはXの思想、信条を了知し得るものではない